

開館時間：10時～18時
（中央館は火～金：20時）
休館日：毎週月曜日、
年末年始、その他臨時休館
（分館は国民の祝日・休日）

としょかんだより

（中央館）TEL 22-3225 FAX 22-7118

（三和分館）TEL 58-4715 FAX 58-4716

（夜久野分館）TEL・FAX 37-1066

（大江分館）TEL・FAX 56-1017

「ふわふわ」白い妖精？



秋が深まってきましたが、夏の終わりの話です。庭の植物に何やら白い綿のようなものが…棒の先でつついてみると、ぴょんとかわいく飛んでいきます。「あら、生き物だ」と驚き、3日ほど観察していると、変化して緑の虫になりました。正体は、アオバハゴロモ。白いふわふわは幼虫でした。植物の汁を吸い、作物にとってはありがたいお客さんのようです。

参考にした本

『昆虫好きの生態観察図鑑 2』鈴木 欣司、鈴木 悦子／著 緑書房
『昆虫』(小学館の図鑑NEO 3)小池 啓一 ほか／指導・執筆 小学館
『昆虫』(ポプラディア大図鑑WONDA 1)寺山 守／監修 ポプラ社



2026・第80回 読書週間

10月27日から11月9日は読書週間です

静かだけど、冒険中。

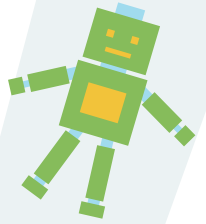


どくしょすいしんうんどうきょうぎかい
読書推進運動協議会ホームページ より

こんかい
今回のテーマ



『すていぞロボット!』



ぎじゅつ ひび しんか
ロボットの技術は日々進化しています。
きみ し 知らないロボットをもっと知ってみよう!

『チャレンジ! ロボットコンテスト』



(あさだ りん/作, 難川 まつり/絵 金の星社)

ぼつしゅう 没収されたゲーム機を取り戻すため、ロボットコンテストで全国
たいかい 大会を目指すことになった小4の快。チームを組むことになった小5
の真斗は、ロボット作りに本気で取り組んでいて…
しづしづ 参加する快と、本気の真斗。ふたりは予選を勝ち上がる
のかー。

『ロボット、被災地へ行く』

(なかまつ まるは/作, スカイエマ/絵
あかね書房)



の とはんとう おおじ
能登半島で大地震
しん はっせい ひさいち
震が発生。被災地の
じょうきよう し しょう
状況を知った小5
の悠真は、何か助け
ゆう ま なに たす
にならないかとペッ
トの見守りロボット

つか おも ひさいち む
を使うことを思いつく。被災地に向かう
くるま の ひなんじょ
車にロボットを乗せてもらい、避難所
ひとさが かつやく ひさいしゃ
では人探しに活躍するものの、被災者
からはめいわく い
迷惑だと言われてしまい…

『人をたすけるロボット 1』

ひと
人をたすけるげんばをみてみよう!』

(ひと
「人をたすけるロボット」編集室, 理論社/編
りろんしゃ
理論社)

いま わたし
今、私たちのくらし
なか
の中では、ロボットが
か ほん
欠かせない存在にな
っています。この本
は、レストランやホテ
ルなどで実際に活躍



しやしん しょうかい
しているロボットを写真付きで紹介してい
ます。ロボットがどのように人を助け、働
いているのかをわかりやすくまな
学べます。

児童おすすめの本



『学校にひそむきみんもんつき』



(とみなが まい／作, 大串 ゆうじ／絵 福音館書店)

いつもの学校で、不思議な少し怖い出来事が起こる物語。教室や廊下にひそむ「きみんもんつき」。妖怪ほどこわくはなくて、妖精ほどかわいくはない。ページをめくるたびに現れ、ドキドキが止まらない。短いお話なのに読み終わると、そっと余韻が残る。

『宇宙人のいる教室』



(長谷川 まりる／作, 鈴木 夏菜／絵 岩崎書店)

少し未来の世界。新しい学校になじめずにいた美月のもとに、もうひとりの転校生がやってくる。今度こそ仲間ができると期待する美月でしたが、なんとその子は宇宙人。だれかと一緒にいることのむずかしさとあたたかさを描く、静かな成長の物語。

『図書館とねことゆうれいと』



(レベッカ・ステッド, ウェンディ・マス／作, 三原 泉／訳 偕成社)

ある日突然現れた青空ミニ図書館。並ぶのは、火事でなくなった図書館の本ばかり。貸出カードに残っていたのは有名なミステリー作家の名前。ねこのモーティーマ、小学5年生のエヴァン、元図書館職員のアル。彼らによって隠された謎が明らかになっていく。

『毒のずかん』



(国立科学博物館／監修 偕成社)

身の周りには、植物や動物、微生物、火山ガスなど、たくさんの「毒」がひそんでいます。毒はどうして体に害を与えるの？そのしくみや意外な役割、薬やワクチンへの利用まで、写真やイラストで紹介。こわくて不思議な「毒」の世界をのぞいてみよう！

ティーンズ ^{ほん} おすすめの本



『AIと生きる』



(^{ゆうき ひろし ちょ エスピー}結城 浩／著 S Bクリエイティブ)

^{なん こた エーアイ わたし}何でも答えてくれるAIと、私 たちはどう付き合っていけばよいのだろう？
^{こうこう ねんせい ゆうじん せんぱい エーアイ たいわ かせ エーアイ}高校2年生のテトラが、友人や先輩、そしてAIとの対話を重ねながら、AIと
^{つ あ かた かんが みずか い かた せんたく}の付き合い方を考え、自らの生き方を選択していく。

『学校を休んだ日は本をひらいて』



(^{きよし まゆこ ちょ しゅふ せいかつしゃ}清 繭子／著 主婦と生活社)

^{がっこう にがて がっこう にがて にん おとな し}いま学校が苦手なきみへ。かつて学校が苦手だった11人の大人たちが、自
^{ぶん ぶん こ ほん よ おとな}分がどんな子どもで、どんな本を読んでいたか、そして大人になって、どんな
^{ほん}本をすすめるかを伝えます。

“ホンの居場所”図書館についても紹介していますよ。

『わたしのbe』



(^{さとう こ ちょ カド カワ}佐藤 いつ子／著 KADOKAWA)

^{ようし じしん こうこうせい ふみ か しょうきょうほう しょうどうぶ しょうぞく}容姿に自信がない高校生の文香は、消去法で書道部に所属している。
^{にゅうぶ にゅうぶ う きょう かれ しょう しんけん む あ すがた ひ}そこへ入部してきたイケメンの佑京。彼の書と真剣に向き合う 姿に惹か
<sup>れ、しだいに文香も書道に魅 了される。やがて「美」とは何か？という問
^{いの かのじょ だ こた}いに彼女が出した答えとは…</sup>

『空と花のパレード』



(^{てんかわ えいと さく}天川 栄人／作, ^{そうが さしえ}くりた ゆき／装画・挿絵 ^{しゅつぱん}くもん出版)

^{こうこう ごうかく ふたご しまい こはな そらか ちようご いもうと そらか ぼく}高校に合格した双子の姉妹の心花と空歌。その直後、妹 の空歌から「僕は
^{ほんとう おとこ つ とまと こはな こうこうせいかつ はじ なか}本当は 男 なんだ」と告げられ戸惑う心花。それぞれの高校生活が始まる中、
^{ぼく ぼく そらか ねが かな}「僕は僕のままでいたい」という空歌の願いは叶うのか。

トランスジェンダーをテーマに描いた青春小説。